

授業評価項目と回答肢

質問項目

講義・学内演習科目

1. 授業の目的は明確であった。
2. 授業の準備は十分に行われていた。
3. 授業の内容は分りやすかった。
4. 授業で使用した教材や資料は役に立った。
5. 教員の話し方は分りやすく、聞き取りやすかった。
6. 教員は学生の発言や質問を求め、積極的に対応した。
7. 教員は学習にふさわしい環境を保った。
8. 教員は授業を熱心に行っていなかった。
9. 授業時間以外での質問や相談に対する教員の対応は適切であった。
10. 教員はレポートや記録物に評価を加えて返却した。
11. 私はこの授業に熱心に取り組んだ。
12. 総合的にみて、この授業は有益であった。

実習科目（実習報告会・セミナー含む）

1. 実習の目的は明確であった。
2. 実習開始前に十分な説明や指導があった。
3. 実習内容は適切なレベルに設定されていた。
4. 実習施設では自由に質問や相談ができ、明確な回答が得られた。
5. 実習に対する教員の熱意が感じられた。
6. 実習に対する実習指導者の熱意が感じられた。
7. 教員から十分な指導が得られた。
8. 実習指導者から十分な指導が得られた。
9. 実習でしか学べなかったことを学んだ。
10. 実習中のレポートや課題は適当な量だった。
11. 実習施設は実習に適していた。
12. 総合的にみて、この実習は有益であった。

回答肢

- a. 強くそう思う
 - b. ややそう思う
 - c. どちらともいえない／ふつう
 - d. あまりそう思わない
 - e. まったくそう思わない
- わからない／当てはまらない場合は無記入とする

科目平均点の算出方法

- 1) 実習の評価項目は、評価段階（a～e）を便宜上（5～1）の点数化を行い算出する。
- 2) 講義の評価は、問8以外は実習用評価項目と同様、評価段階（a～e）を（5～1）点に、問8は評価段階（a～e）を（1～5）点に逆転させて点数化して算出する。
- 3) 平均点の算出に際しては、評価項目の12項目の全てが「a」あるいは「e」の記入されたカードは除外する。ただし、各科目の授業評価の回収率と項目別評価は回収された全数分の結果である。